

# リバプール通信

社会福祉法人 大石福祉会  
介護老人福祉施設 **リバプール**  
TEL 077-536-3111  
<http://www.liverpool.or.jp/>

2017・10月号 Vol. 147 季節が行った来たり、衣替えも行った来たり!



## リバプールハロウィン2017 ～デイサービス～

### アロマハンドトリートメント 9月8日 ～アロマセラピスト 河越さんに聞く①～

「アロマハンドトリートメント」を施設で採用して、1年が過ぎました。入居者様もアロマの日を楽しみにされており、施術をお願いしている「アロマサロン湖香」のアロマセラピスト河越さんにお話を伺いました。今後、シリーズでアロマの効能などについて紹介していただきます。



～施術中、香りを感じて難しい顔をされていた方の表情がパッと明るくなり、昔の話をされたり、私の手を優しくさすって下さったり、私の方がいつも皆様に気付きと感動を与えてもらっています。香りを通して、入居者様の変化に驚いております。

アロマセラピー(芳香療養)とは、精油という植物の香りのエネルギーを使って身体や心を健やかに導くものです。落ち込んでいたり、気分がスッキリしないときに、オレンジやレモンの香りで一気に気持ち切り替わった経験のある方おられると思います。これも、アロマセラピーの1つです～

## 9月21日 敬老式典



9月21日に敬老式典を行いました。今年は米寿を迎えられた方は6名おられました。大石学区社会福祉協議会会長・岡田様、大石地区民生児童委員協議会会長・坂口様が敬老のお祝いに来てくださり、越大津市長より賞状が贈呈されました。大石地区に在住の3名の方へは大石地区民生児童委員協議会よりひざ掛けのプレゼント。施設では、米寿の方に加え、卒寿3名、百歳以上3名の方にはささやかではございますが、お花と賞状をプレゼントしました。敬老の日の18日の昼食にはお祝い食として、栗入り赤飯を食べて頂きました。栗入り赤飯は大好評で、おかわりされている方もおられました。



## 9/25 臨床美術



今回の臨床美術はステンドグラス風の壁飾りを作りました。まずはお好きな下絵を選んで頂きます。薄い透明のアクリル板の下に下絵を敷き、絵の黒い枠線のみを黒マジックでなぞり映していきます。下絵が出来れば、色も加えていきます。お好きな色を選んで描いてもらうことで、同じ下絵を選ばれた方でもそれぞれの個性が表現されていました。絵が完成するとステンドグラスの風合いを出すために、アルミホイルをアクリル板の下にひきます。アルミホイルには光がよく屈折するようにしわを作るため、アルミホイルを手でクシャッと握ってもらい、それをまた広げます。これも手の良い運動に。最後に額縁を付けるようにお好きなカラーテープを選んで縁を留めれば完成です。1階の展示スペースもいつも以上に華やかになりました。

## 9/28 歌声喫茶



久しぶりの開催となりました歌声喫茶！「久しぶりで嬉しいわ、もう秋が近づいているな！」と楽しみに待たれている利用者様もおられ、初めて参加された方も多く、いつもにも増して賑やかな会となりました。後半のカラオケ大会では十八番の曲をリクエストされ、盛り上がりました。

## 入居ご家族様、ボランティアの皆様へ

いつもご支援いただきありがとうございます。今年の秋祭りは都合により開催いたしません。下記の日時で和太鼓演奏会を開催しますので、奮ってご参加下さい。

10月19日(木) 午後2時~3時 和太鼓演奏「フェニックス」

場所：1階地域交流スペース

## Uビジョン研究所による研修 第3回目 9月25日(月)・26日(火)



「介護記録の意義と目的」について学びました。日々の記録が、「記録」になっているのだろうか？単なる「日誌」になっていないだろうか？と考えさせられる研修会でした。

介護保険制度の理念は、「人間として尊厳をもって生きることを支える制度」です。記録を振り返ってみると、「食事」「排泄」「バイタル（血圧・体温・脈拍など）」などの支援（介助など）の記録が多いのに気づかされます。これらの記録はたいへん重要ですが・・・生きざまが見えてこない。

もし、自分が自分のことを書かれた記録を読むことが出来たら、どうでしょうか？

「私をもっと見て欲しい」（こころや思いなど）と感じるのではないのでしょうか？また、家族様が読まれたらどうでしょうか・・・。お父さん、お母さんの生きざま（生きた証）・人となり（人柄）は感じて頂けるのでしょうか？

リハビリは、病院ではありません、生活場です。入居されている高齢者の方の体調管理は必要不可欠です。専門職の集団である以上、一定の管理された記録は大切ですが、今回これを機に、先輩が使っているからと何気なく使っていた、また医療現場で使われているからなどの「用語」について考えることにしました。現在、全スタッフにアンケート調査を実施中です。今一度、皆で考え、自律した生活を支援するヒントにし、誇りを持って介護の仕事に取り組みたいです。

ししとびくらぶ

## 東町サロン 鹿跳倶楽部 (60回目) 9月30日



「ふれあいサロン」も節目の60回目を迎えました。2年半に亘り、地域のボランティアの皆様のご協力により継続できたものと感謝しております。

最初の施設見学会の時から、皆さん2歳半お歳を取られているのですが、活き活きとされておられ、姿勢もよくなられたように感じます。その間、転倒骨折などもなく、サロンの健康体操が功を奏したのではないかと感じております。引き続き、継続を目指して取り組んでいきます。



今回も「つまづかない」「転ばない」「立ち上がりが楽々」の三課題について、体操をしました。「健康ワンポイント講座」は、「インフルエンザ対策」「O-157対策」について学びました。誤嚥性肺炎対策として、嚥下力強化として、早口言葉に取り組みました。最後に、「雨二モマケズ」（宮沢賢治）をみんなで大きな声を出して朗読しました。